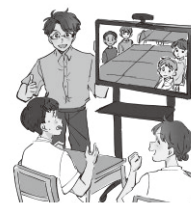


2 対照表

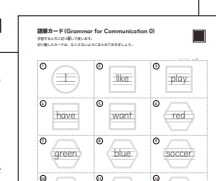
図書の構成・内容	留意点	具体例
全体	①基礎・基本となる文や文構造、文法を系統的に学びと同時に、それらを単なる知識としてではなく、目的・場面・状況に合わせて活用できるコミュニケーションの力として育成することをめざしています。(第1号) ②各Unitで取り上げる題材を通して、異なる文化の発想や考え方を知り、広い視野でものごとをとらえる力や相手の立場に立って理解しようとする態度を育成します。(第1号) ③生徒の心情に訴える題材を取り上げ、友情や国際協力などの道徳心を培うように配慮しています。(第1号) ④巻末の語彙集や資料では、生徒の興味関心に広く訴えるものを取り上げ、豊かな自己表現を促します。二次元コードには検索機能のあるデジタル用例辞典も用意しています。(第1号) ⑤Real Life Englishでは言語の使用場面や働きを踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。(第2号) ⑥Unitの中に働く人の姿を盛り込み、働くことに関する意識の醸成をめざしています。(第2号) ⑦1年間を通して、キャラクターたちが活躍するストーリーが繰り広げられます。生徒は、自らの学校生活や家庭生活と重ねて学習が進められます。(第2号) ⑧対話的な学習のために、ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、相手意識を持ってコミュニケーションを行ったり、相手の立場に立って考えたり、協力し合ったりする態度を育みます。(第3号) ⑨イラストや写真を含め、男女が協力して家庭生活を営む様子を取り上げています。かつ、社会で働く人の姿についても男女を取り上げています。(第3号) ⑩自然を大切にしたり、環境の保全に心がけたりするような題材を取り上げています。(第4号) ⑪世界に日本の良さを発信しようとする生徒を育成するため、わが国の伝統や文化、自然に関する題材を取り上げています。(第5号) ⑫国語との関連を図り、日本語との関連から、英語について学べるような資料を掲載し、言葉への豊かな感性と情操を育成します。直前のLearning Literature in English で国語で学ぶ物語の文章構成を理解する方法を英語に当てはめ、実際にLet's Readを読むようにしています。(第5号) ⑬グローバル社会で生きることを意識し、海外の生活や文化を理解した上で、尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)	①p.12 Unit 1「Hello, Everyone!」のEnjoy CommunicationとKey Sentences ②pp.43~49 Unit 4「Friends in New Zealand」 ③pp.91~98 Unit 8「Think Globally, Act Locally」 ④pp.140~147 Word Roomとデジタル資料集 ⑤p.99 Real Life English Scene 4「レストラン注文する」 ⑥p.93 Unit 8「Think Globally, Act Locally」 ⑦p.11 Unit 1「Hello, Everyone!」 ⑧p.61 Unit 5「My Brother in Hawaii」 ⑨p.84 Unit 7 Part 2 Practice①料理をする父のイラスト、p.107 Unit 9 Part 2 年末大掃除をする兄妹のイラスト ⑩pp.91~98 Unit 8「Think Globally, Act Locally」 ⑪pp.71~78 Unit 6「A Rakugo Performer from the U.K.」 ⑫pp.126~128 Let's Read「Gon, the Fox」 ⑬pp.91~98 Unit 8「Think Globally, Act Locally」



3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

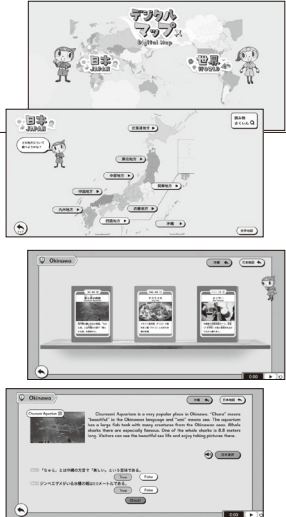
観点	留意点	具体例
① 特別支援教育への配慮	①二次元コードをパートごとに配し、音声学習に取り組むやすくしています（前見返しに示すコードより全てのコンテンツにアクセス可能）。また画面を拡大したり、ルビをつけたりして、視聴覚や言語の面から誰一人取り残さないためのデジタル教材を用意しています。 ②視認性や書きやすさに配慮された書体を1年生のほぼ全体を通して使用しています。また、夏休み前までの小中接続期では、回答欄に4線を使用しており、中学校での文字指導に配慮しています。 ③本文やNew Words、Key Sentencesなど、紙面上の要素のデザインや配置を統一しているので、学習の流れを見通すことができ、安心して学習に取り組めます。	① p.7 Unit 0「Nice to Meet You」 ② p.13 Unit 1「Hello, Everyone!」 I'm _____ I like _____ ③ pp.61~68 Unit 5「My Brother in Hawaii」
② ユニバーサルデザインへの取り組み	①Unit、Real Life English、Stage Activityの単元を規則的に配列し、学習のユニバーサルデザイン化を図っています。 ②二次元コードや学習者用デジタル教科書と紙の教科書を併用し、誰もが個別最適に学べるコンテンツを用意しています。【本資料p.2参照】	① pp.4~5 目次「学習の見通しを立てよう」 ② p.69 Real Life English Scene 1「コマーシャル」
③ 造本上の工夫	①巻末の語順カードは、生徒が切り取って語順を理解するのを助けます。デジタル版も用意しています。 ②生徒が自己表現に必要な情報を検索できる資料を紙とデジタルにふんだんに用意しています。 ③ページ数を抑えた上、最大限に軽量化された、薄くても裏写りにくい用紙を使用しています。 ④特殊な糊を使って製本し、ページが大きく開くため、外側に折り返して手に持っても、ページがはがれず、堅牢なつくりです。 ⑤印刷は鮮明で、豊富な写真やイラストを効果的に配置しています。	▲デジタル版は本資料p.2参照



(2) 今日的な課題への取り組み

観点	留意点	具体例
①防災・安全	3年間を通して関連する教材を扱うなどして、防災や安全の視点を重視しています。	p.98 Unit 8 「Think Globally, Act Locally」 Unit Activityのポスター
②環境・資源・エネルギー	題材の中で、自然と触れ合ったり、その大切さを感じたりするような場面を取り上げています。	p.118 Unit 10 「This Year's Memories」
③多様性・人権への配慮	「ダイバーシティメモ」として、多様性について気づきを促すコーナーを設けています。題材や人物の出身国は、英語圏や非英語圏、日本とできるだけ 多様な世界の国々からステレオタイプを避けて設定 しています。それぞれの国の良さや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深めたりすることができます。また 男女のバランス にも配慮しています。	p.22 ダイバーシティメモ 扱う国や地域、人物：ニュージーランド (Unit 4)、ハワイ (Unit 5)、イギリス (Unit 7)、ケニア (Unit 8)。南アフリカ共和国出身の白人エディ、中国系カナダ人のチェン先生ほか
④伝統・文化	日本の伝統・文化の良さを海外に発信したり、逆に、日本に住んで、伝統・文化に取り組む海外の人を紹介し、 自国への理解 を深めたりします。	pp.71～78 Unit 6 「A Rakugo Performer from the U.K.」
⑤SDGs・道徳教育との関連	多様な国々を取り上げることで世界へ目を向け、視野を広げ、それぞれの国が大切にしていることの理解につなげています。	pp.91～98 Unit 8 「Think Globally, Act Locally」
⑥小中高の連携	①小中高の連携を図るため、学習指導要領をもとに東京書籍版CAN-DOリストを作成し、それに則って学習目標を設定しています。また、小学校と中学1年生の各学期の目標を5領域別に示しています。 ②1年生では、小学校との円滑な接続のために十分な期間を取り、小学校の音を中心とする学習から、中学校における4技能5領域の力をバランスよく育成する学習へと移行できる構成です。また Sounds and Lettersでは小学校の単語を集中的に学び、後続のUnitパート内での単語学習の負担を軽減します。	①巻末CAN-DOリスト ②pp.6～55 小中接続パート 「English」という単語はUnitの直前の Sounds and Lettersで既習語になるため言語材料のパート当たりの負担は軽くなります。 ▲pp.6～7 Unit 0 「Nice to Meet You」 ▲p.18 Sounds and Letters 1 ▲p.20 Unit 2 「Our New Teacher」
⑦言語力の育成	①言語力を育成するために、「学び方コーナー」で日本語との違いに触れるなど、国語を意識した学習ができます。 ②文学作品を扱い、国語との連携を図っています。	①p.3 学び方コーナー4 「音のちがい」 ②pp.126～128 Let's Read 「Gon, the Fox」

(3) 学校教育を取り巻く諸課題への取り組み

観点	留意点	具体例
①先生がたの働き方改革への貢献	①1ページあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 ②各Unitのパート構成を同じにしているため、学習の流れを見通ししやすくなっています。【本資料p.7参照】 ③活動で発話・対話したり、書いたりする際の例文を、紙とデジタルそれぞれの特長を生かし、活用しやすく豊富に用意しています。	①pp.4～5 目次「学習の見通しを立てよう」 ②pp.19～25 Unit 2 「Our New Teacher」 ③pp.54～55 Stage Activity 1 「All about Me」Poster
②カリキュラム・マネジメント・地域連携	デジタルコンテンツを活用しながら 個別最適な学習 ができるように、紙面の文字量を調整し、生徒が自分自身の学習活動に能動的に関わりたくなる工夫を随所に施しています。デジタルマップは地域での方針に沿って伸縮自在に 複式学級や少人数授業、家庭学習 に活用できる読み物教材です。	デジタルマップ
③GIGAスクール構想の推進 (個別最適な学び・協働的な学びのために)	①紙面や学習者用デジタル教科書の両方に付した二次元コードから本文と語句欄の音声(スピード変更、スラッシュ読み、カラオケ機能、マスク機能付き)や文法解説動画などを視聴することで、学校でも家庭でも音声や動画を活用した学習ができます。また、Key SentencesやNew Wordsの補充問題やデジタルワークシート、デジタル用例辞典もあり、思考ツール、デジタルマップなどは協働学習に使えます。※詳細は第2・3学年編修趣意書各p.2参照 ②Unitの最初に配置しているPreviewには、二次元コードからアニメーションと音声を視聴できるので、そのUnitで扱っている文法項目を使う「目的・場面・状況」を予想することができ、意味のある文法学習の導入となります。 ③制度化された学習者用デジタル教科書の使用によって、必要な部分を大きくして見たり、音声へのアクセスが簡単にできたり、日本語訳を活用した学習ができたりするため、英語学習における最適な学びの環境を全ての中学生に保障します。	

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配合授業時間数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-68	中学校	外国語	英語	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
2 東書	英語002-72	NEW HORIZON English Course 1		

1 編修上特に意を用いた点や特色

中学1年生の学びから、

誰一人取り残さない英語教育をめざした教科書です。

令和の日本型学校教育を実現するために、この教科書には次のような工夫があります。

1 Activityを積み上げて単元末のゴールの姿を評価

年間指導計画（縦軸）の流れ

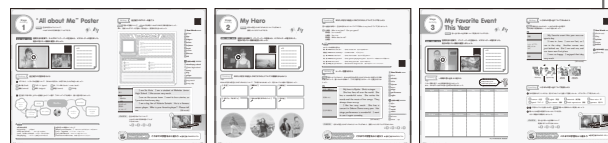


Unitだけでなく **Grammar for Communication** でもbe動詞と一般動詞を同時に扱うことで、その違いを認識しやすくしています。さらに、本文の中で何度も繰り返し登場させるため、適切に使えるようになります。語順カードは紙でもデジタルでも活用できます。



Stage Activity 年間を大きな3つのテーマでまとめる、バックワードデザインでタスクを構成 (カナダとの交流を疑似体験)

- ①自己紹介
- ②ヒーロー紹介
- ③一年間の思い出紹介



一 活動を積み上げる手順がわかり、学習が見通せる全体構成

この教科書では、年間指導計画（縦軸・左図）と単元のまとめ（横軸・本資料p.7）とが規則性をもって設計されています。**この構造のもとで、学習の流れが見通せ、目標（入口）と評価（出口）の場所が明らかになるため、CAN-DOリストに沿ったわかりやすい手順で確実に力をつけることができます。**

[5領域をバランスよく育成]



単元	パート	聞く	読む	やり取り	発表	書く	
Unit	扉 (Enjoy Listening / Preview)	◎					単元導入のためのリスニング
	Enjoy Communication (Unit 1~4のみ)	○		○	◎		小学校の表現を使った活動
	Part 1~3 (1はUnit 1~4のみ)	○	◎	◎	○	○	本文と、場面のある代入練習
	Before You Read / Read and Think (Unit 5~10のみ)	○	◎	○	○	○	Partの本文を受けて、読み物 (Read and Think) を読むに至る目的・場面・状況を導くリスニングと本文
	Unit Activity	○	○	○	◎	◎	単元末活動
Sounds and Letters		○	○			○	音と文字のつながり
Stage Activity		○	○	◎	◎	◎	4技能統合、定番テーマでのまとめ
Real Life English / Let's Read		◎	◎	◎		◎	実生活密着の英会話など / 読書
Grammar for Communication		○	○	○		○	文法の整理

英語で伝え合う生徒の「体験」を積み上げる教科書です。

音声で「導入」、重要表現で「展開」、単元末活動で「まとめ」、見通せる単元配列で目標と評価に対応します

単元のまとめ（横軸）の流れ

- 語彙・言語の使用場面と働き・題材を、各学年テーマのもとで難易度の低いものから徐々に高いものへと系統的に繰り返し練習できるので、生徒は学びが積み上がる実感を持てます。
- 技能別、あるいは4技能を適宜統合・総合する活動をそれぞれのパートで繰り返し行うことで確実に定着を図ることができ、単元末活動のUnit Activityでついた力を確かめられます。
- 単元末活動で使いたい表現は本文に立ち返ってヒントを探すことができるように、下図のActivity1～3・Unit Activity・Stage Activityのタスクと本文を設定しています。

目標の明示



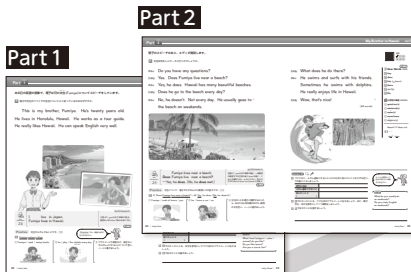
自分と相手以外の人やものについて、たずねたり伝えたりすることができる。

Unit Activity (▶p.68)『友達紹介のスピーチをしよう』

扉



[導入：p.61]



[展開①：Part 1 pp.62～63]
[展開②：Part 2 pp.64～65]

Activity 2 積み上げ2

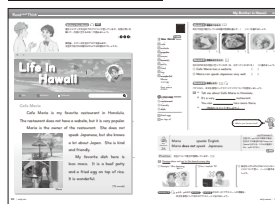
Activity 1と同じ要領で、相手がふだん週末にすることとそれ以外に知りたいことをたずね合う。

Activity 1

積み上げ1

ペアになり、相手が好きなこととそれ以外に知りたいことをたずね合う。聞き取ったらメモを取り、教科書本文を参考にしてペア以外のクラスメートに伝える。最後に伝えたことを書く。

Read and Think



[展開③：Read and Think pp.66～67]

Activity 3

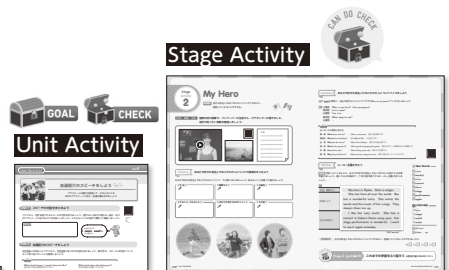
積み上げ3

Activity 1と2でわかったクラスメートの情報を、教科書本文を参考にほかのクラスメートに伝える。

Unit Activity

積み上げ4：生徒の姿を評価

Activity 1～3の情報を振り返り、クラスメートの魅力をスピーチで伝え、友情の輪を広げる。



[まとめ②：Stage Activity pp.100～101]

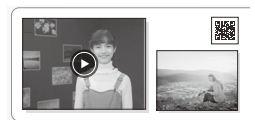
パフォーマンス評価

[まとめ①：Unit Activity p.68]

Stage Activity=My Hero

積み上げ5：生徒の姿を評価

好きな有名人やあこがれの人のについて、カナダの中学生とのビデオレターのやり取りの疑似体験を通して伝える。



巻末の資料編pp.140～147では、言語活動のヒントとなる語彙を参照できます。コードから音声も聞けます。また、Unit Activityのコードからは、活動のヒントとなる教科書本文を検索できるデジタル用例辞典にアクセスできます。

2 自己表現を助ける資料をデジタルでも！

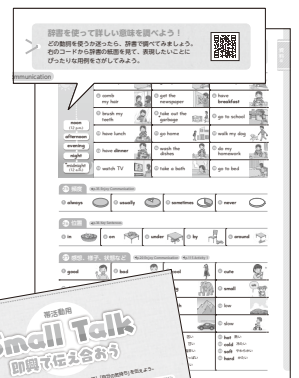
— 伝えたいことを工夫して、「自分の言葉」にできる表現集・用例辞典 —

- デジタル用例辞典は教科書本文を用例のモデルとして呼び出せる機能です。生徒は3学年分の用例を見ることができ、収録語数は約1,000語、収録表現数は約300種類です。

3 即興力を育成するための様々な仕掛け

— 教科書を学ぶのではなく、教科書で学ぶために —

- 巻末のSmall Talkは、帯時間や休み時間に、気軽に英語が生徒の口から飛び出すような教室をイメージして設けたページです。自由に、楽しく、即興で話せるための練習用コンテンツもデジタルに用意しました。教科書本文に絡めて、中学生が話したくなるようなテーマで表現を特集しています。



[p.147]



[p.157]